

原田メソッド認定パートナーや成講座 感想・気づき

岩崎さゆり

〈原田メソッド参加への経緯〉

私は今まで10年以上X-カードデザイナーをしてきた事を活かして
フリーランスのデザイナーとして個人経営の女性起業家さんをメインに
ブランディングデザインをしてきました。

この「ブランディング」をする時にいる「クライアント様の魅力を引き出すヒアリング」に
特化して今後企業様向けにコンサルティングのサービスが、今までより企業規模の
大きさ会社に通用するのか、という配もありました。

私は、会社員時代に、会社が年商10億から300億へと急成長し、社員が「分裂」したり
平野にならたりすることを肌で経験してきましたので。

新しく開始するサービスでは、「ブランディング」「デザインはもちろんですか」
社員が一丸となって成長戦略を描けるようなコンサルティングをした」と考えて、
そのようなことが「叶う何かを学びたい」とネットでいろいろ探していた時に
「原田メソッド」に出会い、参加を決意しました。

〈初回養成講座へ参加して〉

私は子供がまだ3歳で京都在住なので、東京へ行くことは
元々難しいと思っていたのと、無料説明会へ参加した時の説明が
「東京の原田先生の動画収録へ参加できる権利」「せっかくだから、原田先生の
セミナーを体験してもらおう」というような言ひ方でしたので、
東京のセミナーが「絶対参加だ」というイメージでは受けとっていたのですか?
初回だけはなんとか参加した、という想いを大変実家がくみ取ってくれ、
東京へ行かせてもらえる事になり無事に参加できました。

セミナーでは

1Fのコップが上を向いた人たちは「カリ」と、こんなにも熱意や熱気があります
また、礼儀正しく譲り合う精神があり、200名を超える集まりでも
嫌な気持ちにさせる人がいない、ということに驚き、
またそんな中に混れる事を嬉しく思いました。

原田先生を初めて見た時は「おおお！動画の人や！」と有名人に会った
ファンみたいな心境でしたか。
お話しの上手さに、ぐんぐん引き込まれ、
またスピードの速さに必死で、あと一歩間の1日でした。
この空気感を体験できたことで「原田メソッド」へ向かう気持ちがグッと増した
貴重な1日でした。

〈原田メソッド認定パートナーナイツ講座を受講して〉

OW64には、受講前から興味があるましたか？ 受講前は自分で
やってみても64個が埋められませんでした。
しかし、全5回受講すると全部のワークがすべて繋がっており
自分の深層の気がついてなかった願望が出てきた
1つのワークがきちんと完成すると他のワークの精度が上がったりと
いろんなことを一気にやるのは大変ですか？ 取り組めて良かったです。

私の中で1番の収穫は「嫌いだった家事が嫌いじゃなくなったこと」です。
フリーランスで仕事をしていると忙いといつも部屋が荒れたり、料理が手抜きになたり、家事の時間も無駄でもたない時間に感じイララしたりしていました。
自分がしなくてはいけない仕事、どうしていかなかったので矢印も他人に向っていました。
しかし、最初は「レーティングに丸をつけた！」という動機からでていたか
無理やりでもやるようになり、OW64を精査すると家事の大切さが浮き彫りになりました。
ストロークを学んだ上で、「家事は家族へのストロークだ」、「家事は感謝を形にすることであり、引いては、自分を支援してもらうに必要なこと」というえる
事ができるようになりました。
また、家事の時間に原田メソッドの音声を聞くことで、かなり有意義な時間として
位置づけることができるようになりました。
憧れの「家事も仕事もできる女性」に一步近づいたような気が嬉しいです。

2回目の講座からは、東京へ行く事はやはり難しく、オンラインでの受講でいたが、同じく認定パートナーを目指す仲間と一緒に勉強する時間を作り、シェアし、ストロークの合意ながら受講してました。

おかげで、共通言語ができ、また、意識もモチベーションも高い状態で、チームを作る事ができました。

以前より仲よくやれていって、仲間と呼ばれる関係になれた気がしています。
一緒に勉強する時間が持てた事も、私にとって貴重な体験になりました。

<今後の目標>

夫にも、「受講費、ちゃんと仕事にして換金にね」というのが、受講の約束でしたので、しっかり自分のサービスと絡めながら、原田メソッドを使っていきたいと思っています。

また、原田先生が「うう」とお話をされていた、原田メソッドの塾の事も気になります。
月1回の集まりは、できるだけ参加して、新しい大阪の仲間と先輩方にアドバイスをいただきながら、自分の目標も達成し、年内にうまくクリエイタ様の望む未来へ寄り添えるよう、サービスの内容を固め、がんばっていきます！
ありがとうございました！ おいくお頼み致します。